

令和8年度裾野市地域公共交通活性化協議会(第2回)議事録

日時:令和8年9月 28 日(月)13:30~15:00

場所:裾野市役所 4階会議室

・委員総数29名中24名出席。 別添資料 No.1のとおり

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 委員及び出席者紹介【資料 No.1 参照】

4. 議事

(1) 市内循環線の退出申出及び今後の運行方針について【承認】

○小澤委員(深良地区区長会)

富士急シティバス株式会社が令和9年 3 月 31 日で退出したい申出がある中で、東西線をお願いするのは難しいのではないかと。小型バスから中型バスに変更すると車内空間が広く「空気を運んでいるのではないかと」と市民から言われる懸念がある。

南北線を三ツ輪交通自動車株式会社をお願いする点についても、タクシー業界が運転手不足の中で、大変な負担になるのではないかと。

○事務局

南北線に関しましては、利用者が少ないことからジャンボタクシーの利用を検討しました。三ツ輪交通自動車株式会社の通常の配車業務に支障が出ないように、時間を決めた定路線運行として考えています。

続いて東西線ですが、小型車両が限界を迎えている中で、中型車両であれば都合がつくとお話をいただいております。中型車両に切り替えることで小型の新車を購入せずに経費を抑えて対応できると考えました。また中型車両では交差点を曲がれない狭隘区間がございますので、一部ルートを迂回いたします。東西線は午前中に 10 人以上の乗車があり、ジャンボタクシーでは全員を乗せきれない便があるためバス車両による運行を考えました。

○小澤委員(深良地区区長会)

事情は理解いたしますが、もう 1 点、社会福祉協議会などが実施している通院や買い物等の移動支援事業についてです。国交省の支援を受けて他地域でも始まっており、裾野市の社会福祉協議会でもそうした手段があると思いますので、そのような移動支援についても活用・検討すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

ご指摘のとおり、通院・買い物支援につきましては重要と認識しております。令和 9 年度の地域公共交通計画の改定に向けて、どのような交通手段が市民一人ひとりにとって有効で必要なのか、

情報収集を行いながら検討を進めてまいりたいと考えております。

○木口委員(富士急シティバス株式会社)

弊社として最大のネックとなっていたのは小型専用バスの車両調達とコストでした。都市計画課と協議する中で「中型バスの活用」と「狹隘道路ルートの回避」という工夫により、車両問題を解決しつつ利用者が増加傾向にある東西線の交通手段を維持できる目途が立ちました。

中型バスにより車椅子対応や車内スペースの確保など利便性向上にも寄与できると考えています。厳しい経営環境ですが、地域公共交通の足を途絶えさせないため、交通事業者として協力させていただきたいと考えています。

○藤井委員

地域で抱える非常に難しい問題が現実には顕在化していると感じます。その中で利用実態に合わせて運行形態を選択された事務局の対応は方向性として妥当であると評価いたします。

そのうえで南北線のジャンボタクシー化について1点懸念がございます。方針案に「現行ダイヤと同程度を基本とする」とありますが、これが本当に成り立つかを精査していただきたいです。

運賃が200円程度で利用できていたのが、500円となることで、利用頻度が減少する可能性があります。乗車人数が少ない状態が続くとドライバーのモチベーション低下にもつながります。タクシー事業者が運行を担うにあたっては、地域の中で利用時間を集約・調整し乗合率を高めて効率的に運行できるよう工夫を検討してください。

○事務局

運賃面やダイヤ設定について検討し、次回お示しします。

(2) 裾野市公共ライドシェア実証運行について【承認】

○小澤委員(深良地区区長会)

朝の時間帯に岩波駅から須山方面へ向かう回送便・下り便が設定されていますが、朝、この方向に乗車する利用者はいるのでしょうか。

○事務局

朝の需要の多くは須山から岩波駅へ向かう方向ですが、日中(8時～)のデマンド運行を須山地区を中心で行うため、車両を須山へ移動させる必要があります、その移動便として設定しております。現状、車両が1台のため、この運用を前提に運行計画を組み立てております。

○高梨委員(教育部長)

教育部門における取り組みについて情報提供させていただきます。今年度より小中学校通学費補助の距離基準を緩和いたしました(小学生 4km 以上→2.5km 以上、中学生 6km 以上→4.5km 以上。ただしバス定期券購入を条件として補助)。

また令和10年度より須山小学校を小規模特認校化し市内全域から通学可能とする予定です。その際、市内中心部から須山地区へ登校する児童の朝の交通手段(岩波～須山方向)として本路線が活用できるのではと考えております。さらに令和9年度には富岡第二小学校と富岡第一小学校を統合しスクールバスを朝1便、帰り2便、運行開始予定です。スクールバス以外の用途への活用についても検討していきたいと考えている。2031年3月末の裾野高校廃止に伴い、約50名の生徒が自転車などを使って通学しているが、今後市外へ通学することになるため、朝夕の駅ま

での交通支援策について都市計画課と連携して対策を進めてまいります。

○足木委員(静岡運輸支局)

確認ですが、定時定路線も区域運行も事前予約制でよろしいでしょうか。朝の便でアンケートから使われる方が多い結果がある中で、高校生の利用が乗車定員 8 名を超えてしまった場合の対応はどうなるのでしょうか。

○事務局

事前予約制となっておりますので、定員を超える予約は受け付けできません。高校生の通学に支障が出ないよう事前予約の枠組みの中でしっかりと調整してまいります。

○藤井委員

2 点質問・コメントがございます。

1 点目は高校生等の定期利用において 1 週間分のまとめ予約や LINE などを活用したリアルタイムな運用対応が可能かどうか。2 点目は一般ドライバーの確保・講習状況についてです。

○事務局

一般ドライバー確保につきましては三ツ輪交通自動車株式会社様を通じて募集を行い、現在 3 名の方から応募いただいております。10 月中に「福祉有償運送講習」を受講いただき、11 月からの実証運行に従事していただく予定です。

○パブリックテクノロジーズ(実証運行の配車アプリ受託事業者)

本システムでは乗車 5 日前から前日 17 時まで予約を受け付けます。平日運行のため、月曜日にアクセスしていただければ翌週の月～金曜日分(5 日分)をまとめて順次予約することが可能です。他自治体の事例でも生徒や保護者が週の初めにまとめて予約入力されるケースが多く見られます。

○小澤委員(深良地区区長会)

若者はスマホアプリで簡単に予約できますが、私どものような高齢者はスマートフォンの操作に不慣れなため、コールセンターへ電話すれば電話だけで予約が完了できるのでしょうか。

○事務局

コールセンターでの電話予約が可能です。お電話いただければオペレーターがアプリシステムに予約を確定入力いたしますので、スマートフォンをお持ちでない高齢者の方も安心してご利用いただけます。

5 その他

(1)富士山南東スマートフロンティア推進協議会「モビリティ人材育成事業」について

裾野市戦略推進課より資料に沿って説明

6 閉会

次回は12月15日(火)に市民文化センターで開催予定。

年明けの1月に第4回協議会を予定。